

初期研修医（ジュニアレジデント）		
1	診療科名	救命救急センター
2	診療科紹介	自治医科大学救命救急センターは、栃木県の救急医療の最後の砦として3次救急医療のみならず、苦しんでいる患者＝救急患者と考え、断らない救急を目標に医師会、行政、消防機関、二次医療機関、住民の方々と一緒に考え、この地域にあった救急医療を展開しています。
3	臨床研修指導医	間藤卓、米川力、伊澤祥光、松村福広、田中保平、藤屋将真、藤原慈明
4	研修概要（特徴）	初期臨床研修の2年次に必修研修として2ヶ月間研修します。
5	研修内容（方略）	初療対応と入院患者管理を通し、救急患者・重症患者の初期対応、重症患者管理を学びます。2ヶ月間でACLSリーダー、JATECリーダーができるようにトレーニングを積みます。
6	到達目標	(1)一般目標（GIO）あらゆる救急疾患に対して適切な初期診療を行う為に、救急治療に必要な、基本的知識・技術・態度を身につける。 (2) 個別目標（SBO） 1.適切な患者情報を患者本人・家族・関係者・救急隊から聴取できる。2.診察を通し鑑別疾患を想定し、適切な検査計画を立てられる。3.ABCの異常に対して適切な処置ができる。4.入院後の重症患者管理が行える。5.ACLSに則った2次心肺蘇生法が行える。6.JATECに則った外傷初期対応が行える。7.災害医療についての基本を理解する。
7	週間スケジュール	
7-1	月曜日（午前）	スタッフミーティング
7-2	月曜日（午後）	救急車対応の状況に応じて、適宜救急関連のクルズス、実習（BLS、ACLS、JPTEC等）を行なっています。
7-3	火曜日（午前）	
7-4	火曜日（午後）	
7-5	水曜日（午前）	
7-6	水曜日（午後）	
7-7	木曜日（午前）	
7-8	木曜日（午後）	
7-9	金曜日（午前）	
7-10	金曜日（午後）	
8	経験できる症例	年間2万人以上の救急患者が来院、救急車で搬入は5000台前後です。外傷（頭部外傷、胸部外傷、腹部外傷、四肢外傷、脊髄・脊髄損傷、多発外傷など）、熱傷、中毒（医薬品、農薬等）、内因性疾患（脳梗塞、脳出血、心筋梗塞、血気胸、肺炎、消化管穿孔、敗血症、不明熱、肝膿瘍、イレウス、アナフィラキシー、ショック、蘇生後脳症など）などいわゆる3次救急対応の患者から、コモンディジーズの急性増悪まで様々な症例が経験できます。
9	指導医からのメッセージ	すべての医療の基本は救急といっても過言ではありません。将来何科に進んでも救急で学んだ知識や技術が役に立ちます。ぜひ我々と楽しい2ヶ月を過ごしませんか？